

令和元年第8回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 令和元年6月26日（水） 午後1時30分～

場 所 にぎわいプラザ 4-1 会議室

出席委員 教育長 本多 弘尚
委 員 小栗 仁志 田島 雅子 林 由美 三尾 和樹

事務職員 小関事務局長・小木曾教育次長（兼）学校教育課長・川合事務局次長（兼）教育企画課長（兼）施設計画推進室長・大巾文化スポーツ部長・松井文化スポーツ部次長（兼）オリンピック対策室長・小栗施設計画対策官・花田教育研修所長・河合幼児教育課長・西尾発達支援センターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐり所長・太田阿木高等学校事務長・池戸生涯学習スポーツ課長（兼）少年センター所長（兼）勤労青少年ホーム所長・原文化振興課長（兼）市史編さん室長・二村図書館長（兼）蛭川済美図書館長・青木中央公民館長・林鉦物博物館長（兼）東山魁夷心の旅路館

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教 育 長 報 告
4 議 事
5 閉 会

日程	議 事	件 名	結 果
第1	議第21号	中津川市教育委員会附属機関の委員の委嘱等について	承 認
第2	議第22号	令和2年度使用中津川市立阿木高等学校用教科用図書採択について	承 認
第3	議第23号	令和2年度中津川市立阿木高等学校の入学定員について	承 認

■教育長 ただいまから令和元年第8回中津川市教育委員会を開催いたします。

日程第2、前回議事録の承認につきましては回議といたします。

続きまして、日程第3、教育長報告を行います。

5月27日は東濃地区教育推進協議会総会がございました。28日は文化協会懇親会に出席しました。29日は青少年健全育成理事総会、30日は坂本・阿木地区の移動教育委員会に出席しました。

6月4日は市議会の初日でした。10日は東濃信用金庫評議員会に出席しました。これは中津川市の高校生が奨学金を受けている関係です。12日は校長会、同日、暮らしの知恵創作展実行委員会、13、14日は市議会の一般質問がありました。

15日は東濃地区スポーツ推進委員研修会、同日、美術家協会展のオープニングに出席しました。16日は市消防操法大会、同日、今年から行われました可児徳杯ドッジボール大会に出席しました。19日は学校保健会総会、24日は市長と教育委員の懇談会に出席しました。教育長訪問につきましては、先月以降、福岡中、第二中、付知南小、付知北小、南小、坂本小、東小へ訪問しました。また保育園への訪問は、落合、一色、下野、高山の保育園へ訪問しました。

今後の主な行事です。明日27日は市議会の最終日です。7月2日には少年の主張大会が、今年は坂下中学校を会場に行われます。

以上です。

次に事務局及び文化スポーツ部からそれぞれ報告をします。小関事務局長、報告をお願いします。

■事務局長 前回の教育委員会以降の出席行事等についてご報告します。

5月28日は福岡中学校の教育長訪問に同行しました。30日にはこの4月の市議会議員選挙で新たに議員になられた方と元職で返り咲かれた方への勉強会があり、現行の教育委員会制度、教育委員会事務局の組織、今年度の主な事業などについて説明しました。

6月4日、市議会定例会が始まり、本会議が開かれました。定例会には報告案件2件、条例6件、その他1件、補正予算1件の合計10件の議案が市長提案として上程されました。教育委員会事務局に関係する条例は前回教育委員会で承認いただきました「中津川市認定こども園の設置等に関する条例の制定について」です。補正予算につきましても前回ご承認いただきましたスクールサポートスタッフ配置事業等を含む一般会計補正予算が上程されました。

6日は第二中学校の教育長訪問に同行しました。午後、学校保健会理事会に出席しました。12日は校長会に出席しました。13日は市議会一般質問が行われ、教育委員会事務局に関するものとしましては、田口文数議員から「子どもの上履きと

運動の現状について」の質問がありました。夜には健康福祉会館で移動教育委員会があり、教育委員にもご出席いただきありがとうございました。

14日は引き続き市議会一般質問が行われ、教育委員会事務局に関するものとしては4人の議員から質問がありました。鷹見信義議員からは「子育て支援について」の質問で、35人学級の実施について、通学時の安全確保についてなどの質問がありました。糸魚川伸一議員からは「女性教職員のトイレについて」と「防犯ブザーについて」の質問がありました。大堀寿延議員からは文部科学省から示された虐待対応の手引きについて教育長の所感を求められました。黒田ところ議員からは「坂本こども園について」「保育士の確保について」「坂本小学校の教室不足解消と給食調理場の新設について」の質問がありました。

17日は付知北、付知南小学校の教育長訪問に同行しました。18日は南小学校の教育長訪問に同行しました。夜には坂下高等学校活性化協議会総会に出席しました。19日は市議会の文教民生委員会が開かれ、初日に上程した「中津川市認定こども園の設置等に関する条例の制定について」をご審議いただき、結果は原案可決となりました。併せて5000万円以上の契約金額となりました幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校のエアコン設置工事について報告をしました。夜には新ふくおか小学校統合準備委員会が行われ、新ふくおか小学校の学校教育目標を「ふるさとを愛する子 やさしく・かしこく・たくましく」と決定しました。

20日は坂本小学校の教育長訪問に同行しました。午後、学校保健会総会に出席しました。21日は市議会の予算決算委員会で一般会計補正予算案の審議が行われ、結果は原案可決となりました。24日は東小学校の教育長訪問に同行しました。また、市長・教育委員の懇談会にはお忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。25日は落合保育園・一色保育園の教育長訪問に同行しました。午後には市の定例記者会見が行われ、小学校外国語指導助手の市単独での配置についてピールを行いました。本日、下野保育園・高山保育園の教育長訪問に同行しました。

今後の予定です。27日に市議会本会議最終日が開催され、条例、補正予算ともに原案可決される見込みです。夜には子ども・子育て会議が予定されており、教育委員会の関係では、坂本こども園の進捗状況、幼児教育・保育の無償化について報告します。7月16日までに小中学校の教育長訪問を4校、保育園の教育長訪問を7園予定しています。7月8日は中津川市安全安心まちづくり推進市民会議が開催されます。10日には移動教育委員会が坂下公民館で予定されていますのでよろしくをお願いします。

以上です。

■教育長 次は大巾文化スポーツ部長、報告をお願いします。

■文化スポーツ部長 文化スポーツ部に関わる主な行事や事業について報告します。

5月27日、東京2020オリンピック聖火リレー岐阜県実行委員会が開催されました。同日、国際交流事業検討委員会が開催されました。28日、文化協会総会が開催されました。29日、青少年健全育成推進市民会議総会が開催されました。

6月1日、東京2020オリンピック聖火リレーの県内実施にあたり、そのルートに選定され、併せて出発式が中津川市で開催されることが決定しました。同日、坂下歌舞伎保存会の岐阜県伝統文化継承功績者顕彰受章披露式が開催されました。

1日、2日、明治座クラシックコンサートが開催されました。4日、市議会6月定例会が開会しました。文化スポーツ部関係の一般質問の主なものとして、水野賢一議員から「苗木城跡の駐車場の必要性」について問われ、「整備の必要性は感じている、地元と協議しながら整備計画を策定する」と答弁しています。11日、全国ホストタウン首長会議が首総官邸で行われ、市長が出席しました。中津川市は、内閣官房より東京2020オリンピック・パラリンピックの米国のホストタウンとして登録されています。15日、美術家協会オープニングパーティーが開催されました。同日、東濃地区スポーツ推進委員研修会が馬籠ふるさと学校で開催されました。16日、市消防団操法大会が開催されました。同日、第1回可児徳杯小学生ドッジボール大会を開催しました。12チームの参加があり大変盛り上がりしました。18日、岐阜県獅子芝居協議会総会が、かしも明治座で開催されました。今年の中津川市の当番で、11月17日に「第19回岐阜県獅子芝居公演」が行われます。23日、「チャリティー演歌まつり」が行われ、黒田歌謡教室様より11万1900円の寄附をいただきました。文化振興のために使ってほしいとのことです。9月補正に計上を予定しています。25日、社会教育委員の会兼公民館運営審議会が開催されました。

今後の予定です。6月27日、市議会6月定例会が閉会します。7月1日、東濃総合体育大会結団式が開催されます。2日、少年の主張中津川市大会が坂下総合体育館で開催されます。4日、図書館機能検討委員会が開催されます。7日、東濃総合体育大会開会式が開催されます。同日、社会を明るくする運動及び街頭啓発活動が開催されます。9日、ホストタウン実行委員会設立総会を開催します。14日、第42回付知町柔道大会が開催されます。

以上です。

■教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。

林委員。

■林委員 坂下高等学校活性化協議会総会とはどういう目的の総会ですか。

■教育長 小関事務局長。

■事務局長 3年ぐらい前、県の教育委員会から高等学校の統合の案が出され、その中に坂下高校も含まれておりました。地元の人たち、地元まちづくり協議会や区長会の人たちが何とか坂下高校を活性化して統合を避けたいと活動している協議会です。年度当初の予算決算、新年度の事業計画等について審議が行われました。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 その協議会の構成メンバーはどのような方がみえますか。

■教育長 小関事務局長。

■事務局長 区長会、まち協、観光協会、小中保育園の関係者等です。

■教育長 田島委員。

■田島委員 図書館機能検討委員会について教えてください。

■教育長 大巾文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 昨年6月に請願の形で新たな図書館の構想を作っていただきたいとありまして、田島委員にもご出席いただき準備会を5回ほど行っております。同時にリニアを活用したまちづくり市民会議からも現在の図書館が非常に古くなっている所以で移転したらどうかという提言をいただいています。そういった中で、新町ビル跡地に図書館を建てたらどんなものになるのかという基本的な構想を作っていきたいということで開催する委員会です。メンバーは、新町商店街の方、図書館協議会委員、図書館司書、区長会連合会代表、商工会議所の方々です。

■教育長 ほかにいかがでしょうか。

なければ日程第4、議事に入ります。

議事日程第1議第21号「中津川市教育委員会附属機関の委員の委嘱等について」説明をお願いします。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 否はありません。よろしく申し上げます。資料を見ると男女の割合は5人5人で非常にバランスはいいと思います。年齢的にはやっぱり若い人が少ないです。来年度の改正期に利用者を見据えて広い年齢の方々をしっかりと人選していただきたいと思います。

■教育長 二村図書館長。

■図書館長 ありがとうございます。前年も同じことをご指摘いただきました。こ

ちらも幅広い年齢の委員を求めています。以前は大学生にも入っていただいておりますが、実際に出席いただける人材が見つかるかどうか非常に難しいところです。今後もこうした努力を続けていきたいと思います。また、このような人がいるというご推薦もいただきながら努めていきたいと思っています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 図書館には読み聞かせ等いろいろなクラブがあります。その代表もおみえですが、代表でなくてもその中に年齢的にふさわしい方をという考え方もあっていい気もします。そちらもお願いしたいと思っています。

■教育長 二村図書館長。

■図書館長 視野を広くもって人選したいと思っています。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 任期の確認です。7月1日から5月31日で、6月が空白になっています。これは理由があるのですか。

■教育長 二村図書館長。

■図書館長 資料は7月1日からとなっていますが、下野小学校の西尾校長を除いた9名は、前回、6月1日からということで承認いただいております。表記の仕方として「以下の9人は6月から」と書かなければいけなかったかもしれませんが、7月以降はこのメンバーということでご承認いただければと思います。

■教育長 ほかによろしいでしょうか。

なければ、議第21号については承認ということでよろしいでしょうか。

議第21号「中津川市教育委員会附属機関の委員の委嘱等について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議事日程第2議第22号「令和2年度使用中津川市立阿木高等学校用教科用図書の採択について」説明をお願いします。

太田阿木高校事務長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 教科書のことではないですが、英語の授業でネイティブの方から授業を受ける機会はあるのでしょうか。

■教育長 太田事務長。

■阿木高校事務長 A L T等の専門の人は阿木高校には来ていません。

■教育長 田島委員。

■田島委員 中学校まではA L Tに教えていただき耳が養われていると思います。阿木高校の卒業生は、遠方に就職されたり上の学校に行かれる人が少ないように伺っています。中津川近郊では女性だと販売員などが多いような気がします。馬籠、中津川の街中にも外国の方がたくさんみえていて、卒業してすぐに仕事で英語を使って対応しなければいけないことがあるような気がします。そういうことへの工夫はあるでしょうか。

■教育長 太田事務長。

■阿木高校事務長 現在具体的にはそういった動きはないので、今後、教科の教諭、教育委員会と相談して、そういった方向に向えるように協議していきます。

■教育長 田島委員。

■田島委員 英語ができる人が今とてもたくさんいます。放課後やクラブでもいいので、英語にもものおじしない生徒をつくり社会に出してあげるとは非常に大事だと思います。のびのびと仕事もできると思います。伝手はたくさんあると思いますので、工夫していただきたいと思います。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 一言お礼です。阿木高校に大勢の卒業生を送り込んだ立場です。学力にきつと差があると思います。そういった学力差等へも親身になって個々への対応をしてください。この場を借りて感謝申し上げたいと思います。また、阿木高校は中津川市の教育の一つの大きな特色だと思いますので、こういった高校の取り組みをますます発展していただけると嬉しく思います。

■教育長 ほかにございますか。なければ、議第22号については承認ということによろしいでしょうか。

■教育長 議第22号「令和2年度使用中津川市立阿木高等学校用教科用図書の採択について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議事日程第3議第23号「令和2年度中津川市立阿木高等学校の入学定員について」説明をお願いします。太田阿木高校事務長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 少子化が進んで生徒数が少なくなっているのは分かりますが、この減り方は、他校と比べて平均的な減り方なのでしょうか。

■教育長 太田事務長。

■阿木高校事務長 他校と比べた資料がありません。近年かなり入学数が減っています。定員割れの状況です。本校の特徴をアピールしていったって、もう少し入学者を増やせるように努力したいと思っています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 私たちは本当に阿木高校の力を大事にしています。阿木高校がなければなかなか社会に出ていくことも難しい生徒もいるかもしれません。阿木高校のおかげで社会へ出ていかれて生活ができるということです。非常に存続していただきたい。大事にしています。

去年も伺いましたが、生徒集めにあちこちへと事務局がパンフレットを持参し、学校の特徴を説明しています。去年は森井校長がそば打ちコンテスト、お米のコンテストに挑戦されました。また、クラウド・ファウンディングが新聞に載り農機具を買えました。「阿木高ここにあり」と阿木高を知らない方にもかなり理解されたと思います。私は阿木高のジャムのファンで、よそのものと比較したことがありますが、やっぱり阿木高のが一番濃くておいしいです。

いろいろな角度から阿木高の存在を示していかなければいけないと思います。今までのようにパンフレットを持って学校を回るだけでなく、阿木高ファンクラブを作るとか、坂下高校のように阿木高校存続活性委員会を作るとか、阿木高の大切さを押し上げていく角度を変えた考え方をしていかないと、存続の危機ということになってしまいます。できるだけたくさんの工夫をお願いします。

■教育長 太田事務長。

■阿木高校事務長 昨年度、「チーム阿木」という阿木地域で阿木高校を盛り上げたいといったプロジェクトも発足しております。それに伴って、昨年度参加したそば打ちの全国大会に今年も参加する予定です。また今年、クラウド・ファウンディングで何とか草刈り機が買えたことも記事にさせていただきました。いろいろな取り組みをアピールして、地域に貢献できるようにしていきたいと思いますので、ご指導、ご鞭撻よろしくお願いします。

■教育長 小栗委員。

■小栗委員 過去の入学者を見ると、定員割れがずっと続いています。入学定員数を40名にする意図が何かあるのでしょうか。

■教育長 太田事務長。

■阿木高校事務長 1学級40人にすることで教員の定員を標準数に保つというこ

とです。

■教育長 小栗委員。

■小栗委員 もう少し詳しく説明してください。

■教育長 太田事務長。

■阿木高校事務長 40名を切ると、教員の標準数が減ってしまいます。教員が確保できないで、減ってしまうと今の教育がやっていけないことになります。定員は40人を標準としておきたいです。

■教育長 この問題は阿木高校の学校長にも投げかけています。子どもの数に対して教員の数が決まってきます。40人の生徒1クラスに対して教員が何人ということが県や国の定数上決まっています。どこの高校も40人という定員でやられているわけですが、ここ1、2年、少子化で35人の定員の高校が出てきました。中には30人という高校もあります。阿木高校も職員数を減らさないで35人、30人学級ができないかを調べてくれと、学校長にも依頼しています。今のところ、生徒数が減ると職員数が減ることですので、ここは少人数で面倒見がいいところが売りです。職員が減ると大変なことになるので、定員は一応40人でいっています。今後の国の法律や規則の中で、少子化が全国で進んでいきますので、見直しが行われる可能性もありますし、加配という措置もあります。変わってくる可能性があるのも研究してほしいということです。

小栗委員。

■小栗委員 40人の定員に対しての先生の配置があって、定員割れしているということは、おのずと手厚く教育していただいているということになると思いますが、本来であればやはり定員の生徒さんに来ていただくのがいいかなと思います。なかなか人集め、生徒集めも難しい点があると思います。どこを基準とするかというのもあります。40人に対して5割なのか6割なのかです。今年は総合生活科40人に対して入学者8人で、ちょっと寂しいです。先ほどから出ているようにいいことをたくさんやっていますが、そこが伝わりきれてないのかなというのもあるので、何かそういったところも含めて、来年度に向けて活動していったほしいと思います。

■教育長 田島委員。

■田島委員 県の高校では何人に満たなければ統合や廃校をするという基準があるわけですね。阿木高校の閉校の基準はありますか。

■教育長 小関事務局長。

■事務局長 市の高校の廃止の基準は設けておりません。設けていたら多分厳しいかなというのが今の数字だと思います。そういう基準はなくて、阿木高校の果たしている役割を考えて、廃止するのもしないのか考えていくことになろうかと思いま

す。県も、坂下高校の廃止の話が出たと先ほど話しましたが、県立高校の統合の話も現在は一旦凍結しております。

■田島委員 安心しました。

■教育長 林委員。

■林委員 小学校でも児童数が少なくてクラス替えができないことがあります。高校は別ですが、総合生活科の生徒は男子1人、女子7人で、女子ばかりの中で彼はどうしているかと思ってしまいます。また、あまり知らない人がパッと見て、定員に対してこれだけの生徒数だとイメージ的にもこの学校はどうかと思います。必要な人のためのものを提供しているとするなら、市立ですので40人に対して教員が何人ということはこちらで決められると思います。定員は少子化で他校も減っているんで、いろいろなことを加味しながら、40人にこだわらずにやられた方がいいと思います。ここで勉強して本当に内容が分かって、巣立っていく人たちがより充実していくことを考えた方がいいと思いますし、そこに期待したいです。あの教科書は難しそうで、大丈夫かと思いました。副読本はあるのですか。かなり程度が高いように思いました。

■教育長 太田事務長。

■阿木高校事務長 クラスは生産科学科と総合生活科という分け方になっていません。合わせて半分ずつぐらいでなっています。彼が1人で学んでいるということはございません。

■教育長 ほかにいかがですか。

なければ、議第23号については承認ということによろしいでしょうか。

議第23号「令和2年度中津川市立阿木高等学校の入学定員について」は、原案どおり承認とします。

これをもちまして本日の議事は終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

それでは、事務局から次回の開催日程について報告してください。

川合事務局次長。

■事務局次長 次回開催日は令和元年7月17日水曜日13時30分からにぎわいプラザ4-1会議室にて定例会を開催いたします。

■教育長 次回は令和元年7月17日水曜日13時30分からですのでよろしくお願いします。

以上で、令和元年第8回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れ様でした。

【閉 会（午後2時25分）】